



2024年7月26日

日本鉄道労働組合連合会

J R 四 国 労 組 第 43 回 定 期 大 会

明るい未来を実現すべく運動方針を決定!



大谷執行委員長

荻山会長

J R 四 国 労 組 は 7 月 5 日、高松市内において第 43 回定期大会を開催した。代議員・特別代議員、傍聴者ら総勢約 140 名出席のもと、スローガンに「団結 創造 実践 すべての組合員と家族の明るい未来を実現させるべく『ユニオンビジョン 2023』の深度化を図り誇りを持ち安心して働き続けられることのできる環境づくりを推し進めよう!」を掲げ、2024 年度の運動方針を満場一致で決定した。

来賓として連合香川の福家良一会長、J R 四 国 の 四 之 宮 和 幸 社 長、ジェイアール四国バスの矢田栄一社長らを迎え、J R 連 合 か ら は 荻 山 市 朗 会 長、石川敏也産業政策局長が出席した。

冒頭、挨拶に立った大谷清執行委員長（J R 連 合 副 会 長）は、運動方針の 3 つの柱である「安全・安定・安心輸送の確立」「組織の強化・拡大」「労働環境の改善」について、この間の運動を通じた所感や今後の取り組みに対する決意を述べるとともに、「コロナ禍は一定収束し、人流の回復・拡大を受けて J R 四 国 グループの決算も明るい内容となった。J R 四 国 労 組 と し て も、対 面 ・ 対 話 を 重 視 し、コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン の 充 実 を 図 る べ く 活 動 を 展 開 し て き た。昨 年 策 定 し た 『ユ ニ オ ン ビ ジ ョ ン 2023』の深度化を図り、責任組合として組合員とその家族の明るい未来の実現に向けて邁進していこう!」と呼びかけた。

また、来賓として挨拶に立った J R 連 合 荻 山 会 長 は、安全の確立、組織拡大・労使関係の強化、政策課題の解決等について述べ、とりわけ J R 四 国 の 経 営 課 題 に 関 し て 「2026 年 度 以 降 の 支 援 策 に 目 が 向 き が ち だ が、四 国 の 公 共 交 通 の あ り 方 に つ い て 建 設 的 な 議 論 の 推 進 が 必 要。地 方 路 線 の あ り 方 に つ い て、早 期 に 道 筋 を つ け る べ き」と指摘し、J R 連 合 と し て 鋭 意 取 り 組 ん で い く 決 意 を 述 べ た。

人財の確保・定着に向け、「ユニオンビジョン 2023」で掲げた各種方策の実現に鋭意取り組む!

議事では、2024 年度の運動方針等が提起され、11 名の代議員、特別代議員から安全の確立、人事・賃金制度の改正など労働条件改善に係る要望、エンゲージメントサーベイの調査結果を踏まえた離職防止への取り組み等に関する質疑を受け、執行部の中間答弁および中村鉄平書記長の総括答弁の後、すべての議案が満場一致で可決された。

最後に、大谷執行委員長の力強い「団結ガンバロー」で定期大会を締めくくった。

